

ペットボトル®を通した 総合学習の展開と 姨捨棚田のシンボル作り



「信州さらしな田毎の月」プロジェクト実行委員会

= 目次 =

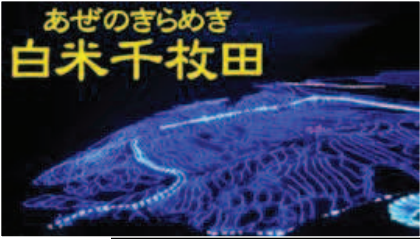


- 1) 「信州さらしな田毎の月」プロジェクト実行委員会の発足と本格活動のための準備
 - ① ペットボトル®に魅せられて
 - ② ペットボトル®と千曲市との関連を知り
 - ③ 姨捨棚田に思いを寄せる方々との意見交換とプロジェクト実行委員会の発足
 - ④ 姨捨棚田の関係者との意見交換、活動内容の説明と調整
 - ⑤ 本格活動のための準備
- 2) 2020年度「地域発 元気づくり支援金事業」の採択と辞退。そしてコロナ禍を乗り越えて
 - ① 総合学習プログラムの開始と「地域発 元気づくり支援金事業」への挑戦
 - ② 支援金辞退と総合学習プログラムの継続とコロナ禍での工夫と進化（第1期）
- 3) 2021年度「地域発 元気づくり支援事業」の採択と活動内容
 - ① 治田小学校開校50周年記念行事として実施へ（第2期）
 - ② 中学生～高学年生～低学年生へとリレー式プログラムの開発・実施
 - ③ 設置にむけ、ボランティア募集・設置の告知・募金活動の実施
 - ④ 姨捨棚田・姪石エリアへのペットボトル®設置イベントの開催
- 4) 千曲市合併20周年と今後の活動など
 - ① 千曲市合併20周年事業への提案活動
 - ② ペットボトル®をシンボルとした、持続可能な姨捨棚田に（第3期へ）



1) 「信州さらしな田毎の月」プロジェクト実行委員会の発足と本格活動のための準備

- ① ペットボトル®に魅せられて
- ② ペットボトル®と千曲市との関連を知り




LED「ペットボトル®」とは？

当社は地域活性化のために「ペットボトル®」と呼ばれる太陽光発電パネル付 LED (発光ダイオード) を使用し、各地行政に技術供与をしています。

「ペットボトル®」の仕組みは容器に「太陽光パネル」、「充電池」と「LED」を組み込んだもので、昼の太陽エネルギーで発電・蓄電し、暗くなるとLEDが自動的に点灯するというシンプルな発光装置です。

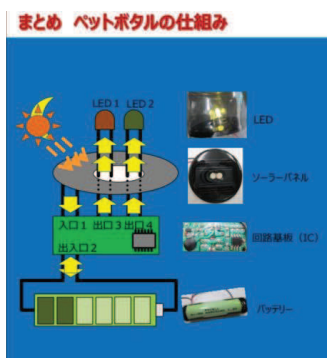
化石燃料による発電ではなく、太陽光エネルギーを利用するものなので地球環境に優しく経済的と大変評判をいただいています。



◇ LED「ペットボトル®」を棚田でライトアップする活動をメディアで知り、その美しさに魅せられて、千曲市の姨捨棚田でも展開出来ないかと構想を描くようになりました。

◇ その「ペットボトル®」は、小学生向けに環境・科学教育も盛り込んだ工作教室がセットされたプログラムのあることも知りました。

◇ さらに、「ペットボトル®」の技術の多くは、千曲市の企業が提供していることも知り、益々千曲市の姨捨棚田でも展開したいと強く望むようになり、その思いを共有できるグループ作りを開始しました。



1) 「信州さらしな田毎の月」プロジェクト実行委員会の発足と本格活動のための準備

- ③ 姨捨棚田に思いを寄せる方々との意見交換とプロジェクト委員会の発足
- ④ 姨捨棚田の関係者との意見交換、活動内容の説明と調整



◇ 更級や姨捨棚田をこよなく愛し活動している人は数多くおられます。その人達の意見もさまざまです。さらに、実際に展開するとなると、「名勝」「国の重要文化的景観」などの指定をうけた姨捨棚田での活動は、事前の調整が欠かせませんでした。(5ページ参照)

決め手は、稲刈り後棚田に水を張り観月をしていたという歴史でした。

◇ 2019年7月5日「信州さらしな田毎の月」プロジェクト実行委員会設立総会のはこびとなり、本格的活動を開始しました。



委員会メンバー





- 1) 「さらしな田毎の月」プロジェクト実行委員会の発足と本格活動のための準備
- ⑤ 本格活動のための準備
- 2) 2020年度「地域発 元気づくり支援事業」の採択と辞退。
- ① 総合学習プログラムの開始と「地域発 元気づくり支援金事業」への挑戦



ペットボタル®設置計画図

1) 当プロジェクト実行委員会発足準備と発足

- ① 準備会合…7回開催
- ② 2019年7月5日プロジェクト委員会設立総会

2) プロジェクト事業の合意形成活動

- ① 地権者・関係区長・団体への説明 6月20～24日
- ② 千曲市各課と協議：歴史文化財センター・教育総務課・観光交流課・建設課・農林課・観光局

3) 更級・八幡小学校での総合学習の開催準備

- ① 千曲市教育委員会、両校との話し合い。
- ② 郷土学習の講師依頼（千曲市歴史文化財センター）
- ③ 製造企業・サンケン電気(株)との打合せ、総合学習内容（環境関連学習）の調整を実施しました。
- ④ 更級・八幡小学校での総合学習の開催（8月27日）
◇更級小：5・6年生45名 ◇八幡小：4・5年生 67名
- ⑤（公財）テクノ財団善光寺バレー地域センターの科学教室開催支援金の助成申請などを実施しました。

4) 現地調査

- ① 第1期は、四十八枚田・姪石エリアとし、将来的には景観もよく県道に隣接する長尾根エリアにも展開する計画にしました。
- ② 対象エリアの畔道の距離を測定し、ペットボタル®の必要個数などの調査を実施しました。

5) 「地域発 元気づくり支援金事業」への挑戦

- ① 事前準備も整い元気づくり支援金事業に申請し採択される。
- ② コロナ禍の状況で小学校で開催できず、辞退しました。



2) 2020年度「地域発 元気づくり支援事業」の採択と辞退。

そしてコロナ禍を乗り越えて

- ① 総合学習プログラムの開始と「地域発 元気づくり支援金事業」への挑戦
- ② 支援金辞退と総合学習プログラムの継続とコロナ禍での工夫と進化（第1期）



（公財）テクノ財団善光寺バレー地域センターの支援を頂き開催できました

- ◇ 元気づくり支援金申請に先立ち、2019年8月27日に姨捨棚田に近い、更級小学校と八幡小学校で、ペットボタル®開発企業が作成した工作教室プログラムと千曲市歴史文化財センターの郷土学習プログラムを加え、総合学習プログラムを実施しました。（7ページ参照）
- ◇ 姨捨棚田への設置時期までの間は、各校で工夫し活用して頂きました。（8ページ参照）
- ◇ 元気づくり支援金事業に採択されたが、各学校ではコロナ禍により通常授業も遅れがちで、カリキュラムに組み込むことが出来ず、事業計画の実施を断念しました。
- ◇ コロナ禍でも出来る出来ないかと無い知恵をしぼり、中学校でのリモート授業開催を計画し2021年2月に実施した。次年度の活動に繋がる種を作ることができました。（9ページ参照）



更埴西中学校・屋代高校附属中学校で サンケン電気(株)の協力でリモート環境教室を開催

更埴西中学校：2020年2月16日開催。 屋代高校附属中学校：2月19日開催
※中学校対象の環境教室プログラムは全国初の試み

「ペットボトル®」を活用した総合学習の開催
 更級小学校・八幡小学校で、2019年8月27日開催



ペットボトル®組み立ての様子



郷土学習は千曲市歴史文化財センター前所長に講師をお願いし、各校の校歌などから、姨捨棚田の成り立ちや、特徴、そして「田毎の月」の由来などを学びました。
 ◇八幡小学校歌: 広やかな 姨捨の 田毎に清く 照月に ……
 ◇更級小学校歌: 更級の 月影照らす 山と水 ……

郷土学習では広重の絵の説明もあり、ペットボトル®設置にも期待が膨らみました



工作教室の最後は記念撮影で盛り上がります



姨捨棚田を望める教室で総合学習を実施

サンケン電気様からは「郷土学習とセットの充実した内容で今までにない生徒の反応でした」との評価を頂きました。

「ペットボトル®」を活用した総合学習の開催その後の活動

(更級小学校・八幡小学校の活動紹介のHPより)



学校田での活動がひとつ加わりました



次年度も学校田やその周辺にも設置しました



- 1) 更級・八幡小学校でのペットボトル®の活用活動
 - ① 更級小学校 …祖父母参観日に廊下に展示し学習の内容を紹介しました。(2019年9月14日)
 - ② 八幡小学校 …第4回千曲ふるさと物語の集い「稲荷山・桑原・八幡ふるさと物語」でステージ発表しました。(9月28日)
- 2) 姨捨棚田にある学校田の稲刈り後にペットボトル®を設置しました。

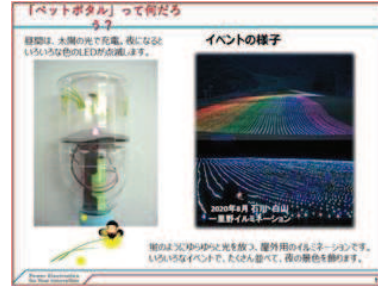
更埴西中学校・屋代高校附属中学校で、
サンケン電気(株)の協力でリモートで環境教室を開催

元気づくり
支支援金
辞退

そして
コロナ禍を
乗り越えて



サンケン電気(株)様に、
中学生向けプログラムを新たに作成して頂きました



3) 2021年度「地域発 元気づくり支援事業」の採択と活動内容

- ① 治田小学校開校50周年記念行事として実施へ (第2期)
- ② 中学生～高学年生～低学年生へとリレー式プログラムの開発・実施
- ③ 設置にむけ、ボランティア募集・設置の告知・募金活動の実施
- ④ 姨捨棚田・姪石エリアへのペットボトル®設置イベントの開催

そして
コロナ禍を
乗り越えて



- ◇ コロナ禍中での活動を模索しており、治田小学校にペットボトル®活動の案内をしたところ、開校50周年記念事業の一環として採用していただき、その内容で計画を検討し、「2021年度地域発 元気づくり支援金事業」に申請したところ採択されました。
- ◇ 実施形態は前年のリモート学習を活かし、全国初の試みで地元中学生が工作教室の講師となり、治田小高学年に工作教室を実施し、さらに高学年生が低学年生に工作教室を実施するという画期的なリレー学習プログラムとなりました。(11ページ参照)
- ◇ そして、中学生はペットボトル®設置イベントの告知ポスター作りへ参加して頂きました。ペットボトル®設置時に現地で郷土学習も交えて実施することが出来ました。(11・13ページ参照)
- ◇ さらに、告知・広報活動や、多くの企業・個人の方々からの多大な激励や協賛金を頂き、2021年度事業を無事終了することが出来ました。(12・13ページ参照)
- ◇ コロナ禍前には、先進地の石川県輪島市の白米千枚田への視察研修を実施。輪島市の担当者からの説明に刺激をうけ、コロナ禍を乗り越えていくことが出来ました。



隣接の道の駅にはペットボトル®も販売していました



道の駅の展望台からは一目で千枚の棚田が！うらやましいロケーションでした



3) 2021年度「地域発 元気づくり支援事業」の採択と活動内容

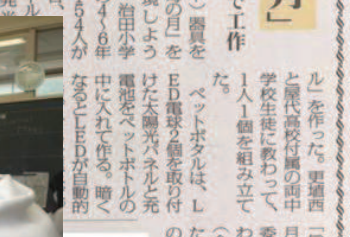
- ① 治田小学校開校50周年記念行事として実施へ (第2期)
- ② 中学生～高学年生～低学年生へとリレー式プログラムの開発・実施



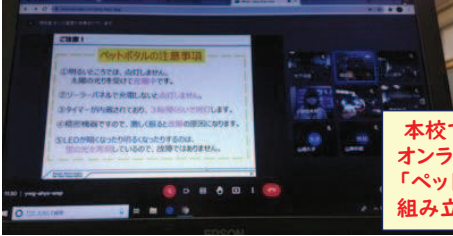
中学生が教えるリレー式の工作教室の様子
この方式も全国初の試みです



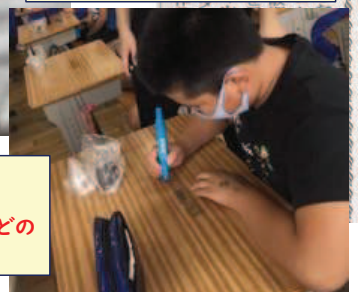
好奇心は「科学の芽」



ペットボトル®に夢を託す
皆さん素晴らしいメッセージでした



本校では環境教育の一環としてLEDキットの開発企業とのオンライン授業を経て、西中生20名、附属屋中生6名を「ペットボトル®」制作のインストラクターとして招き、回路の接続などの組み立て場面やさしく関わっていただきました。(治田小HPより)



3) 2021年度「地域発 元気づくり支援事業」の採択と活動内容

- ③ 設置にむけ、ボランティア募集・設置の告知活・募金活動の実施



設置ボランティア募集チラシ



現地の案内板



募金主旨の説明書とお礼の品



姨捨棚田ライトアップ告知ポスター



この取組みを多くの方からネット上にアップして頂きました



3) 2021年度「地域発 元気づくり支援事業」の採択と活動内容
 ④ 姨捨棚田・姪石エリアへのペットボトル®設置イベントの開催



治田小の設置の際は姨捨棚田で郷土学習も実施



15分ごと4色に色が変わる



ボランティアの皆様ありがとうございました



この景観はNHKをはじめ多くのメディアに取り上げられました

3) 2021年度「地域発 元気づくり支援事業」の活動内容のまとめ

2020年度実施スケジュール

時期	内容
1月	サンケン電気(株)との協議 中学生用のプログラムの開発
2月	屋代附属中学生と更埴西中学生に リモートで総合学習を実施



ペットボトル®が姨捨夜景に
加わり目標も達成しました

2021年度実施スケジュール

時期	内容
4月	募金活動(コロナのタイミングを見て実施する)
5月	小学校との協議(治田小学校)
6月	
7月	小学校での総合学習教室の開催 (中学生が講師となる)
8月	小学校内の活用の工夫
9月	
10月	下旬 小学校からペットボトル®の回収
11月	月上旬 姨捨棚田への設置作業 ※小中学生を含めボランティアを募る
12月	冬場の姨捨棚田の姪石苑エリアで、 ペットボトル®を設置し、浮世絵に描かれた 「田毎の月」を再現する。
1月	
2月	
3月	下旬 姨捨棚田から回収作業

➡ 募金活動は結局10月~12月で実施しました。

➡ 治田小学校からは、引き続きの実施を要請されています。

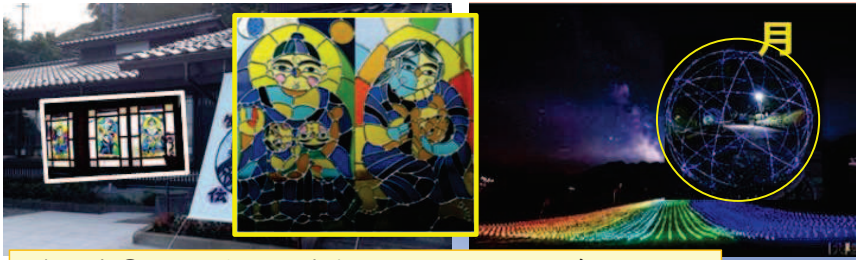


ペットボトル®設置イベントの様子

➡ 2021年度の活動はペットボトル®の回収で無事終了しました。
数多くの皆様のご協力に感謝申し上げます！

4) 千曲市合併20周年記念事業の提案と今後の活動など

- ①千曲市合併20周年事業への提案活動
- ②ペットボトル®をシンボルとした、持続可能な姨捨棚田に (第3期へ)



現在
提案中!
実現は?

1) 提案①:千曲市日本遺産センターを、ペットボトル®とステンドグラスでライトアップし、話題のスポットにする。

2) 提案②:千曲市の観光ポスターに、フォト俳句を投稿してもらい、ポスターを作製する。



3) 今後の活動目標:

- ①県道拡幅時に姨捨棚田のビュースポットに、展望台が建設される予定があり、完成の暁には、長尾根地区にも、ペットボトル®の「田毎の月」を設置したい。
- ②そして、姨捨エリアをSDGsの里としペットボトル®がシンボルとなることを夢見て今後も活動をすすめてまいります。

【国の重要文化的景観
貴重な環境を守る】
・SDGsの里作り
・句碑の里作り
・棚田オーナー制度

信州さらしな
「田毎の月」プロジェクト
・ペットボトル設置活動

【農業の振興
地域の振興】
・棚田米のブランド化
・関係・交流人口増
・棚田オーナー制度

【関係人口の増加
体験・交流・貢献】
・棚田オーナー制度
・関係地作り
・ふるさと納税活用

【持続可能な姨捨棚田作り】
◇姨捨棚田の持続可能性の追求。
“農業も環境も景観も”守るスクラム◇

ペットボトル®に書かれた子供たちのメッセージ (一部)

棚田 空気がおもしろそう
自然をありがとう
棚田の田んぼきれいだな
きれいな棚田
棚田にいる生き物全部見たい
棚田ありがとう
棚田の景色はきれいだな
棚田と月きれいだな
棚田の月きれいに
棚田のお米はおいしい
Here is Chikuma city.
月が目立つ棚田
美しいふるさと
棚田を大切にしていこう
これからも棚田を大切に守ろう
自然をこれからも守っていこう
ふるさとを大事にしていきたい
棚田いつまでもきれいでね
棚田はきれいな景色を保ってほしい

棚田が長くありますように
たくさん育て!米も人も!
月の都いつまでも
棚田のきれいを全国へ
日本遺産の棚田大切にしたい
棚田の保全、ちゃんとやんねん!
お米無事に育てー
棚田のお米食べたいな
お米からお餅に変身 うまい!
棚田に想いが米られている
おいしいごはんありがとう
サッカー頑張りたい
棚田を見ているよ
日本
全国行くぞー
受験必勝!

デザイン画 10枚 など



災害がおきないように

4,000個のペットボトル®がてらす ライス・テラス (棚田) おばすて

ペットボトル®を通した

総合学習の展開と姨捨棚田のシンボル作り

=「信州さらしな田毎の月」プロジェクト実行委員会=

ご清聴ありがとうございました

画像：しろくろねこねこチャンネルより **登録**